

Live Board

「ad:tech tokyo 2024」セッションレポート公開 スポーツと DOOH メディア ～生活者に届くコンテンツの力とは～



株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 櫻井 順、以下 LIVE BOARD）は、2024年10月18日（金）に開催された「[ad:tech tokyo 2024](#)」において、「スポーツと DOOH メディア ～生活者に届くコンテンツの力とは～」をテーマとしたセッションに参加しました。本セッションの内容をまとめたレポートを公開します。

※ LIVE BOARD は TEAM JAPAN オフィシャルサポーター（DOOH を活用した情報提供サービス）です。

◆セッション概要

スポーツと DOOH メディア ～生活者に届くコンテンツの力とは～

多くの人々の興味を惹く大型スポーツコンテンツをリアルタイムに情報を届けられる DOOH で配信することは、世界的なトレンドとなっています。本セミナーでは国内外の活用事例を紹介しながら、国内最大の DOOH ネットワークを持つ LIVE BOARD 社と取り組みを行う公益財団法人 日本オリンピック委員会、一般社団法人日本車いすラグビー連盟事業企画委員会で、各社の取り組み及び今後目指していること、DOOH におけるスポーツコンテンツ放映が持つ価値について掘り下げていきます。

登壇者：

- ・ 公益財団法人 日本オリンピック委員会広報部 富吉 貴浩 氏
- ・ 一般社団法人 日本車いすラグビー連盟 事業企画委員長 兼 広報部長 青田 竜之介 氏
- ・ 株式会社 LIVE BOARD メディア部 ディレクター 現王園 章太

セッションレポートはこちらからご覧いただけます。

URL : <https://liveboard.co.jp/case/202411002558.html>

◆株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する

デジタル OOH アドネットワークオペレーター



OOH 領域において国内で初めてインプレッション (VAC) ※に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、“そのとき、その場所で、その広告を”見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH

を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった“ヒト”基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション (VAC = Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数) を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数 (OTS = Opportunity to See) のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数 (OTC = Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮) を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数 (VAC) を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 櫻井 順
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
営業開始日・創立日	2019年2月1日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問い合わせ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当：安部

TEL : 090-5393-0219 / 03-5843-0932 E-mail : info_press@liveboard.co.jp